

リーダー・管理職は 「率先垂範」をする

新年おめでとうございます

気持ちも新たに、目標を持って新年を迎えられたことと思います。

目標に向かって進めていくにあたって「**率先垂範**」について改めて考えてみましょう。

チームリーダー・管理職は、まず自らが手本を示し先頭に立って走らなければならないし部下はその姿をみて、ついてくるものです。

そして大事なことは、上位の立場だからこそ社会常識や規律を守り、法律を遵守することが必要で、部下と違う立場、役割でありそれだけに責任が重いことを認識しておかなければなりません。部下と同じような振る舞いや仕事の仕方をしているようでは、リーダー・管理職の資格はないと言わざるを得ません。部下が尊敬できるような仕事の実力、日常の態度、さすが上司だと思わせるものがなければリーダー・管理職は務まりません。

リーダー・管理職には「**先憂後楽**」の心構えが必要です。「先憂後楽」とは「人に先立って憂い、人より後で楽しむ」という意味です。わかりやすく言うと、「上に立つ者は誰よりも先に国を心配し、皆が楽しんだ後で自分が楽しむ」という意味で、政治家など国民の上に立つ人達にとって必要な心構えを表す言葉です。

職場におきかえますと、上司は先々を考えて方針や目標を出し、部下の成長を願い時に厳しい指示を出し、その成果をもって部下の成長を喜び、組織の目標達成を喜ぶ。それがリーダー・管理職の役割です。

新年のこの時期に自分は「**率先垂範**」が出来ているだろうか、自問自答していただいて目に見える形で実践していきましょう。

その姿を見ながら部下は上司を尊敬し、見習って成長していきます。

長嶺 堅二郎

